

## オンライン会議兼ペーパーレス会議システム 機能仕様書

### 【基本機能】

- (ア) コンテンツ毎に公開する期間を分単位で設定できること。
- (イ) PDF閲覧時にページの特定位置を指し示すポインター機能があること。
- (ウ) PDFのページを拡大/縮小表示する機能があること。
- (エ) アプリでは、PDFのページの特定期間に付箋を追加し、テキストを残すことができること。
- (オ) PDFのページに対して手書きのメモ書きができること。また、手書きメモを保存することができること。
- (カ) アプリでは、マーカーツールを利用することでPDFにマーカーを引くことができること。また、一定以上の長さの直線については、自動的に直線化される機能があること。
- (キ) アプリでは、カレンダー形式で会議毎にコンテンツを表示することができること。
- (ク) アプリではダウンロード済みのコンテンツは、7日間はオフライン環境でも閲覧することができること。
- (ケ) 利用を許可された端末からのみ閲覧することができること。また、利用者毎にコンテンツの閲覧権限を設定することができること。

### 【会議機能】

- (ア) 会議参加者と日時を指定した会議を作成することができること。
- (イ) 会議には権限を与えられた参加者のみ指定されたコンテンツを閲覧することができること。
- (ウ) 会議の参加者は、自分の意思で同期モードと同期しないモードを選択できること。
- (エ) 会議の発表者のページ操作は、参加者が操作をしなくても、画面が同期されること。
- (オ) 発表者が操作する場合、コンテンツ表示やページ送り、ポインターなどの動作は、会議に参加している参加者のタブレット端末に、発表者画面と同じ画面が表示され、会議進行が出来ること。
- (カ) 会議の発表者の手書きメモは参加者のタブレット端末にも表示することが可能である。

### 【管理】

- (ア) 利用には、ユーザー認証が必要であること。
- (イ) コンテンツの登録と削除は、管理者がパソコンを通じて、ブラウザを使って管理ツールを利用できること。
- (ウ) ダウンロード済みのコンテンツは、あらかじめ定めた公開期間終了後に、タブレット端末から自動で削除されること。
- (エ) ユーザーの持つ権限により、アクセスできるフォルダー及びコンテンツを制限することが可能であること。
- (オ) 管理者によるパスワード変更が可能であること。
- (カ) 管理者は、サーバー内に自由にフォルダーを作成し、コンテンツを格納するこ

とが可能であること。

- (キ) 管理者サイトでは、アプリでダウンロードした資料のページ数を紙の枚数に換算し、環境への貢献度や業務改善効果をシミュレーションすることができる機能があること。

### 【セキュリティ】

- (ア) アプリでは、端末には暗号化された状態でコンテンツをダウンロードすることができ、アプリを通じてのみ復号化することが可能であること。
- (イ) サーバーと端末間の通信経路は、暗号化通信をしていること。
- (ウ) 端末認証・ユーザー認証をした端末のみがコンテンツを閲覧することができること。
- (エ) アプリでは、オフライン状態のまま7日間経過後に、オフラインでアプリにログインすると端末内に保存した全てのキャッシュデータを自動削除する機能があること。

### 【クラウド（データセンター仕様）】

- (ア) データセンターは、24時間365日の運用、利用を実現すること（サーバーメンテナンス期間は除く）。
- (イ) データセンターは、免震設備・制震設備を有していること。
- (ウ) データセンターの消火設備は、窒素ガス消火設備を有していること。
- (エ) 建物の出入り口に防犯対策が講じられていること。
- (オ) データセンターには事前に登録された者のみが入館できるよう管理されていること。
- (カ) 無停電対策として、異系統による2系統の電源を受電し、一方の送電が停止した場合でも受電が継続され、両変電所からの送電が完全に停止した際のための自家発電設備及び電圧・周波数安定化装置による対策がとられていること。
- (キ) サーバーへの不正アクセスや情報漏えい、ウィルス感染などに対するセキュリティ対策が万全であること。